

タカラスタンダード株式会社

2024年3月期

# 決算説明資料

2024年5月9日

証券コード  
7981

水まわりって、大切だから

**Takara standard**

## 2024年3月期 決算概要

### 売上高は過去最高を更新、営業利益・当期純利益とも二桁伸び

売上高は新築・リフォームともに引き続き好調。  
営業利益・当期純利益は価格改定効果が順調に反映し増益。

## 2025年3月期 業績予想

### 増収増益を計画（売上高:1.9%増、営業利益:16.7%増）

「商品力の強化」、「リフォーム市場への取組み強化」を更に推進するとともに、  
前期に実施した価格改定の効果継続や生産性の向上により、収益力の改善を図る。

## 設備投資計画

### 2025年3月期は130億円を計画

生産性の向上及び更なる成長を目的に、生産関連投資で61億円、  
その他IT関連投資などを含め、前期に続いて積極的な投資を計画。

## 株主還元関連

### 2025年3月期は「増配」と「自己株式取得」を予定

前期に続き、資本効率の向上及び株主還元の充実を目的に、  
増配 2円、自己株式取得 20億円(上限)を予定。【総還元性向60%水準】

1. 2024年3月期 決算概要 P. 3 ~ 14
2. 2025年3月期 業績予想 P. 16 ~ 18
3. トピックス P. 20 ~ 24

2024年3月期  
決算概要

売上高は新築向け・リフォーム向けとも拡大し、過去最高を更新。  
営業利益・当期純利益とも二桁伸び。

【売上高】            **2,347億円**  
前期比    +3.2%

新築向けは各製品部門とも順調。リフォーム向けは、2023年8月発売のシステムキッチン「レミュー」・洗面化粧台「エリーナ」が好調。また2022年8月発売のシステムバス「グランスパ」も引き続き拡販が進み、増収となった。

【営業利益】            **124億円**  
前期比    +13.6%

2023年度実施の価格改定効果が下期(10月～3月)から順調に反映し、下期の営業利益は前年同期比約1.5倍となり、通期でも増益となった。

【当期純利益】            **95億円**  
前期比    +12.9%

上記、価格改定の効果に加えて、継続して取組んでいる政策保有株式縮減による売却益もあり、当期純利益も増益となった。

通期で増収増益となり、営業利益率も改善。

(単位:億円)

	2023年3月期		2024年3月期				2024年3月期 業績予想	
	金額	売上比	金額	売上比	増減	増減率	金額	業績予想比
売上高	2,274	100.0%	<b>2,347</b>	100.0%	+73	+3.2%	2,353	△0.2%
売上総利益	760	33.4%	<b>795</b>	33.9%	+35	+4.7%	—	—
販売費及び 一般管理費	650	28.6%	<b>671</b>	28.6%	+20	+3.2%	—	—
営業利益	109	4.8%	<b>124</b>	5.3%	+14	+13.6%	123	+1.0%
経常利益	114	5.1%	<b>127</b>	5.4%	+13	+11.3%	126	+1.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	84	3.7%	<b>95</b>	4.0%	+10	+12.9%	95	+0.0%
ROE (自己資本当期純利益率)	4.6%		<b>5.2%</b>					

# 経営成績(半期対比)

2023年度実施の価格改定が下期(10月～3月)は順調に反映し、下期の営業利益は前年同期比約1.5倍。通期でも増益となった。

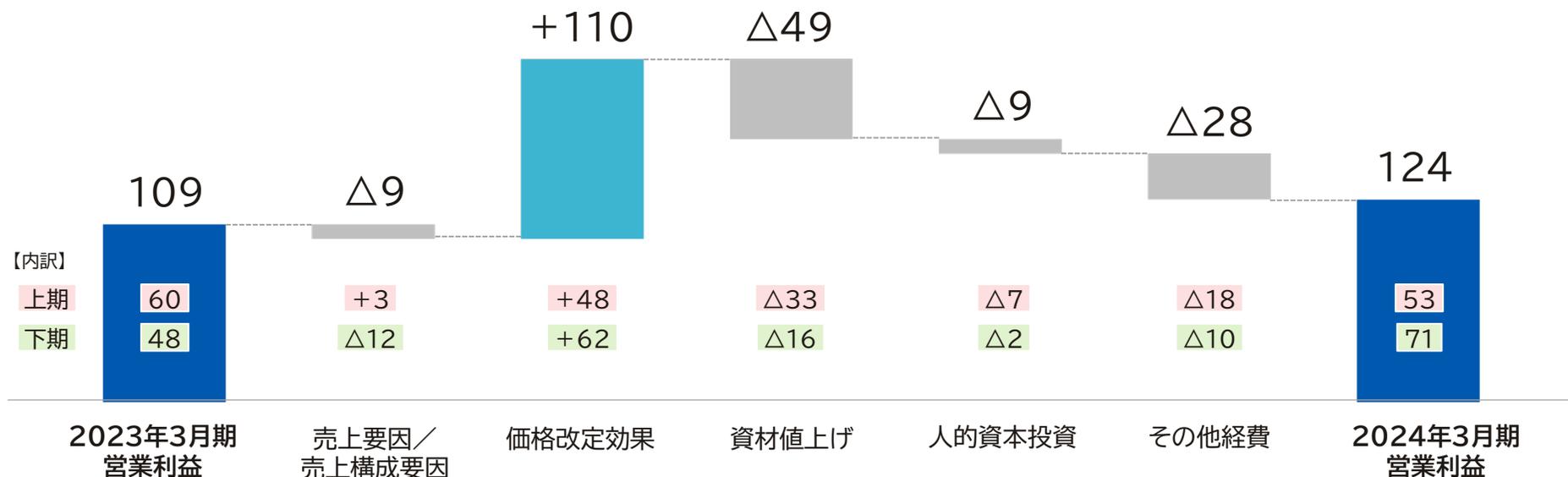
(単位:億円)

	2023年3月期				2024年3月期							
	上期 (4-9月)		下期 (10-3月)		上期 (4-9月)				下期 (10-3月)			
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比	増減	増減率	金額	売上比	増減	増減率
売上高	1,100	100.0%	1,173	100.0%	1,146	100.0%	+45	+4.2%	1,200	100.0%	+27	+2.3%
売上総利益	377	34.3%	382	32.6%	384	33.5%	+6	+1.8%	411	34.3%	+28	+7.5%
販売費及び 一般管理費	316	28.8%	334	28.5%	331	28.9%	+14	+4.6%	340	28.4%	+6	+1.8%
営業利益	60	5.5%	48	4.1%	53	4.6%	△7	△12.8%	71	5.9%	+22	+46.7%
経常利益	63	5.8%	50	4.3%	54	4.8%	△8	△13.9%	72	6.1%	+21	+43.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	41	3.8%	42	3.6%	44	3.9%	+2	+6.7%	50	4.2%	+8	+18.8%

# 営業利益の増減要因

Takara standard

(単位:億円)

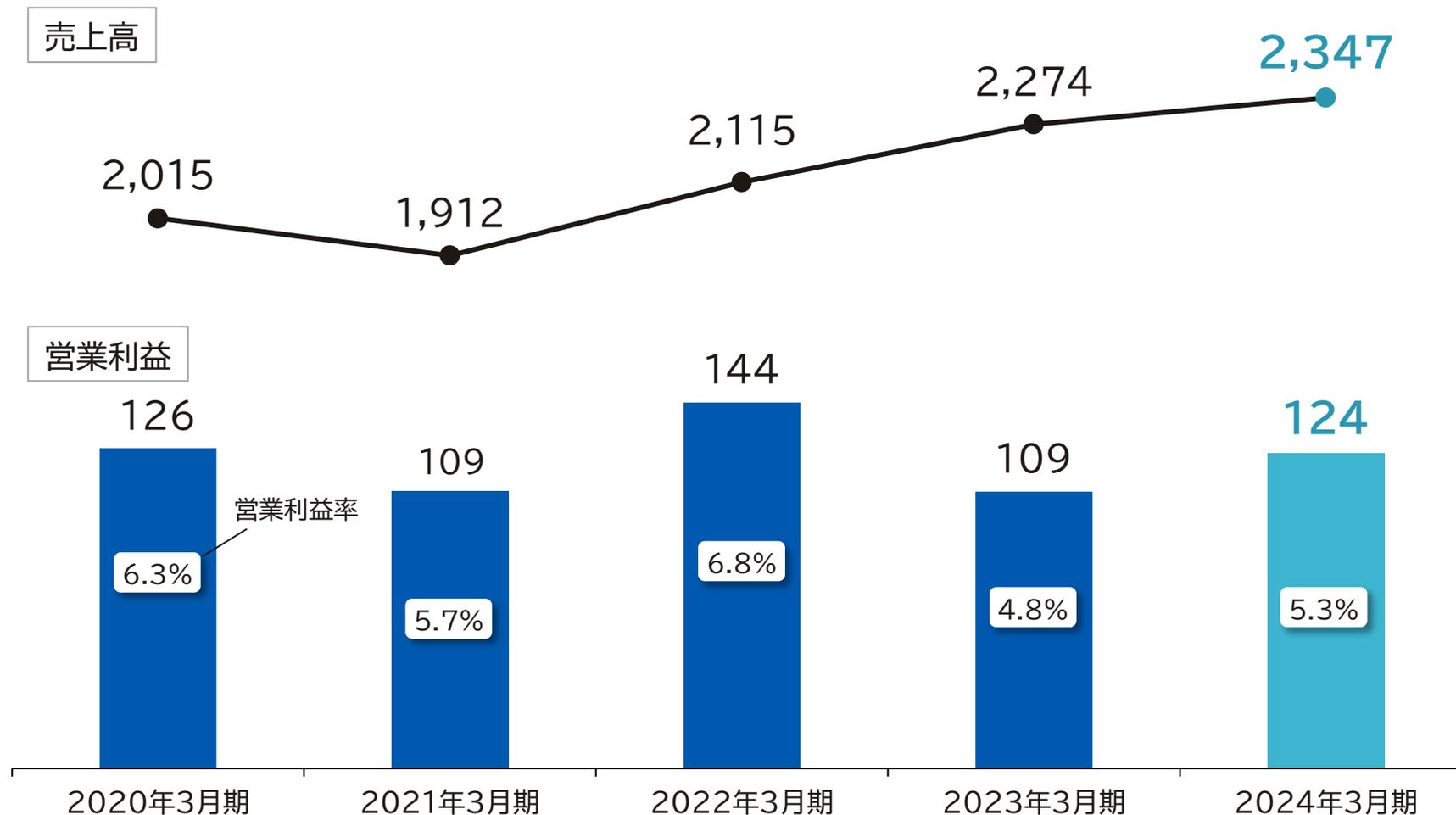


価格改定効果	2022年度および2023年4月、8月に実施した価格改定により利益が増加した。
資材値上げ	主要な資材である鋼板、ステンレス、樹脂原料など市況の高止まりによりコストアップとなった。
人的資本投資	成長事業への人財投資、DX人財の獲得・育成など持続的な成長に資する人的資本への投資を積極的に実行した。
その他経費	物流コストの上昇や、生産設備増強に伴う減価償却費を中心に増加した。

# 売上高 及び 営業利益の推移

Takara standard

(単位:億円)

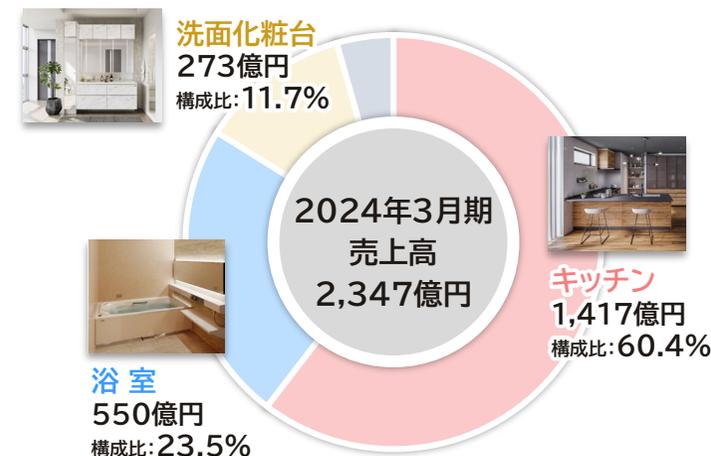


※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」等を適用しており、2021年3月期は遡って適用した数値となっておりますが、2020年3月期の各数値は遡及適用しておりません。

キッチン、洗面化粧台は新築向けを中心に前年を上回ったことに加え、フルモデルチェンジを実施した最高級シリーズのシステムキッチン「レミュー」、洗面化粧台「エリーナ」の新製品が順調に推移。浴室では中高級シリーズ「グランスパ」や新築マンション向けが好調。

(単位:億円)

	2023年3月期		2024年3月期			
	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
キッチン	1,368	60.2%	1,417	60.4%	+48	+3.5%
浴室	524	23.0%	550	23.5%	+26	+5.0%
洗面化粧台	264	11.6%	273	11.7%	+9	+3.7%
その他共 計	2,274	100.0%	2,347	100.0%	+73	+3.2%



【内数】

パネル関連売上	65	2.9%	70	3.0%	+5	+8.2%
海外事業売上	12	0.5%	11	0.5%	△0	△5.1%

# 製品部門別の売上高(半期対比)

Takara standard

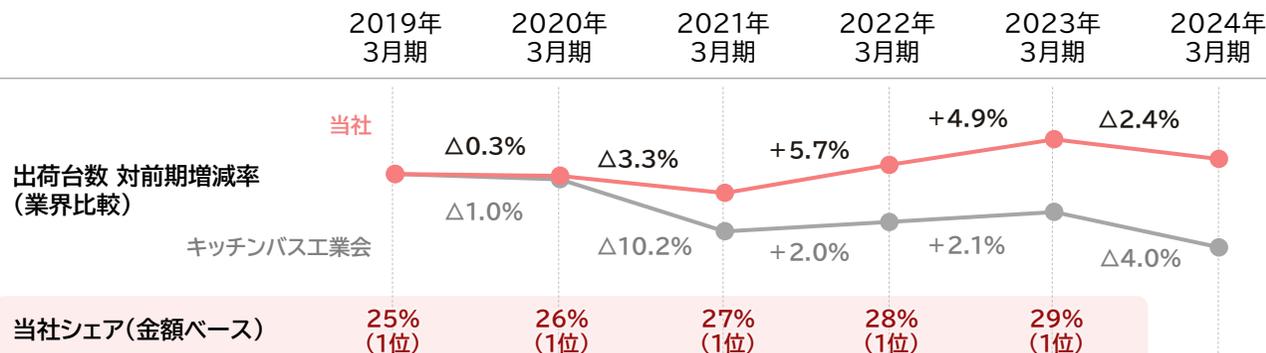
(単位:億円)

	2023年3月期				2024年3月期							
	上期 (4-9月)		下期 (10-3月)		上期 (4-9月)				下期 (10-3月)			
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率	金額	構成比	増減	増減率
キッチン	658	59.8%	710	60.6%	680	59.3%	+22	+3.4%	736	61.4%	+25	+3.6%
浴室	262	23.8%	261	22.3%	285	24.9%	+22	+8.7%	265	22.1%	+3	+1.4%
洗面化粧台	123	11.2%	140	12.0%	129	11.3%	+6	+5.1%	144	12.0%	+3	+2.6%
その他共計	1,100	100.0%	1,173	100.0%	1,146	100.0%	+45	+4.2%	1,200	100.0%	+27	+2.3%
【内数】												
パネル関連売上	31	2.9%	33	2.9%	34	3.0%	+3	+9.6%	36	3.0%	+2	+6.8%
海外事業売上	6	0.6%	5	0.5%	5	0.5%	△0	△7.1%	5	0.5%	△0	△2.7%

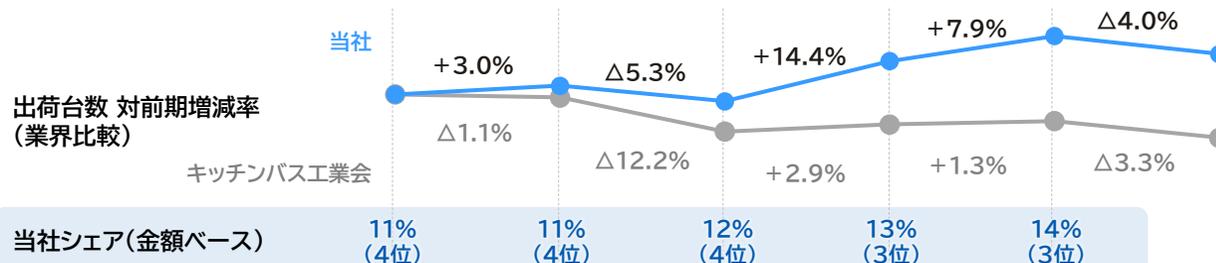
# 出荷台数増減率 及び 当社シェアの推移

当社の出荷台数の対前期増減率は業界(キッチン・バス工業会)に対し比較的堅調に推移している。  
業界シェア(金額ベース)について、全部門とも着実に上昇。

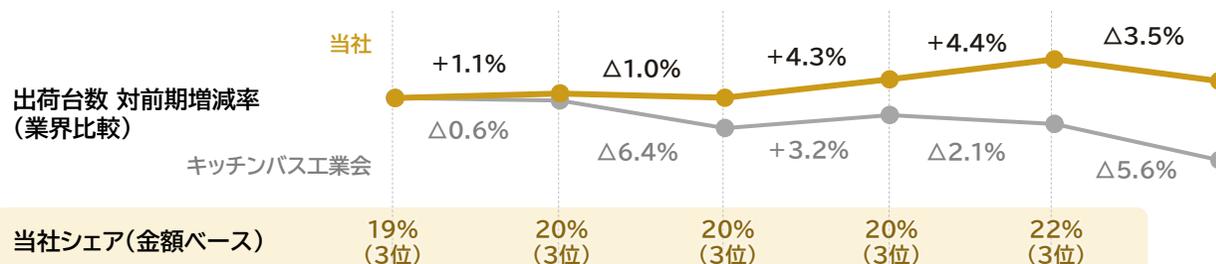
## キッチン



## 浴室



## 洗面化粧台



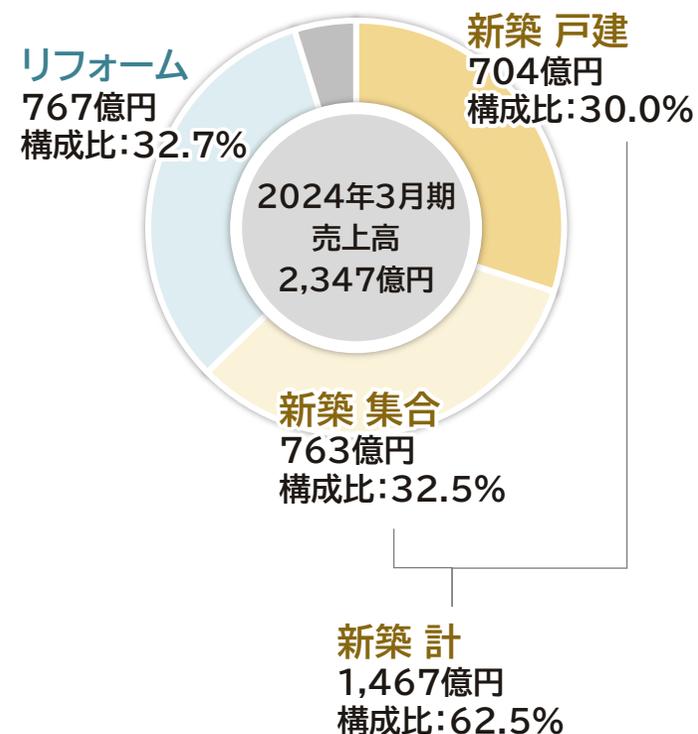
※キッチン・バス工業会の台数増減率は、システムキッチン合計、システムバス合計、洗面化粧台合計の対前期増減率を記載  
※業界シェアは当社調べ

都市部を中心に、新築・リフォームともに売上を拡大。

リフォーム市場では中高級シリーズのシステムバス「グランスパ」の拡販などにより +2.9%の伸びとなった。

(単位:億円)

		2023年3月期		2024年3月期			
		金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率
新築	戸建	699	30.7%	<b>704</b>	30.0%	+4	+0.7%
	集合	717	31.5%	<b>763</b>	32.5%	+46	+6.5%
	計	1,416	62.3%	<b>1,467</b>	62.5%	+51	+3.6%
	リフォーム	746	32.8%	<b>767</b>	32.7%	+21	+2.9%
	その他共 計	2,274	100.0%	<b>2,347</b>	100.0%	+73	+3.2%



# 市場別の売上高(半期対比)

Takara standard

(単位:億円)

		2023年3月期				2024年3月期							
		上期 (4-9月)		下期 (10-3月)		上期 (4-9月)				下期 (10-3月)			
		金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	増減	増減率	金額	構成比	増減	増減率
新築	戸建	344	31.3%	354	30.2%	343	29.9%	△1	△0.3%	360	30.0%	+5	+1.6%
	集合	322	29.3%	394	33.6%	344	30.0%	+21	+6.7%	419	35.0%	+25	+6.3%
	計	667	60.6%	749	63.9%	687	59.9%	+20	+3.1%	779	65.0%	+30	+4.1%
	リフォーム	381	34.6%	365	31.1%	406	35.5%	+25	+6.8%	360	30.1%	△4	△1.2%
	その他共 計	1,100	100.0%	1,173	100.0%	1,146	100.0%	+45	+4.2%	1,200	100.0%	+27	+2.3%

# 貸借対照表

2024年3月末の総資産は 2,686億円。

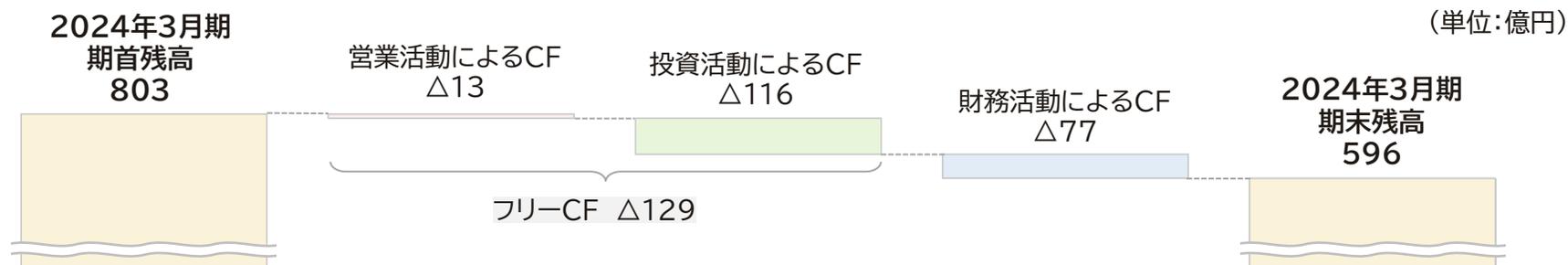
支払いの早期化に伴う流動資産及び流動負債の減少などにより、前期末比 112億円の減少。

(単位:億円)

		2023年 3月末	2024年 3月末	増減	主な内容
資産	流動資産	1,737	1,549	△188	現金及び預金 △207 売上債権 +23
	固定資産	1,061	1,137	+76	有形固定資産 +63
資産合計		2,798	2,686	△112	
負債	流動負債	761	612	△148	仕入債務 △173
	固定負債	222	200	△22	
負債合計		983	812	△170	
純資産		1,815	1,873	+58	当期純利益 +95 剰余金の配当 △36 自己株式の取得・消却 △35 その他包括利益累計額 +36
負債純資産合計		2,798	2,686	△112	

# キャッシュ・フローの状況

現金及び現金同等物の期末残高は、一部の購入先及び物流事業者への支払いを早期化したことによる仕入債務の減少などで期首に比べ 207億円減少し、596億円となった。



	2023年 3月期	2024年 3月期	主な内容
現金及び現金同等物の期首残高	886	803	
営業活動によるキャッシュ・フロー	66	△13	仕入債務の減少 △180 売上債権・棚卸資産の増加 △18 税金等調整前当期純利益 138
投資活動によるキャッシュ・フロー	△53	△116	有形固定資産の取得による支出 △132 投資有価証券の売却による収入 18
フリーキャッシュ・フロー	12	△129	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△94	△77	配当金の支払額 △36 自己株式の取得による支出 △35 短期借入金の減少 △4
現金及び現金同等物の期末残高	803	596	

1. 2024年3月期 決算概要 P. 3 ~ 14

2. 2025年3月期 業績予想 P. 16 ~ 18

3. トピックス P. 20 ~ 24

## 増収増益を計画（売上高:1.9%増、営業利益:16.7%増）

「商品力の強化」、「リフォーム市場への取組み強化」を更に推進するとともに、前期に実施した価格改定の効果継続や生産性の向上により、収益力の改善を図る。

(単位:億円)

	2024年3月期 実績	2025年3月期 予想	増減	
				増減率
売上高	2,347	2,391	+43	+1.9%
営業利益	124	145	+20	+16.7%
営業利益率	5.3%	6.1%	+0.8P	—
経常利益	127	147	+19	+14.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	95	97	+1	+2.1%

## 2025年3月期の設備投資は130億円を計画

生産性の向上及び更なる成長を目的に、生産関連投資で61億円、その他IT関連投資などを含め、前期に続いて積極的な投資を計画。

(単位:億円)

	2025年3月期 計画
設備投資額	130
減価償却費	76

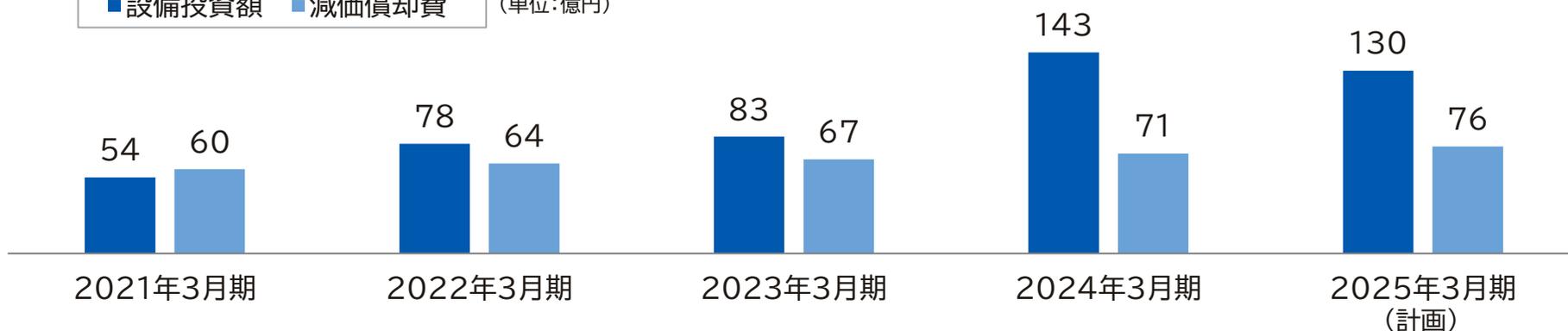


(主な内訳)

(単位:億円)

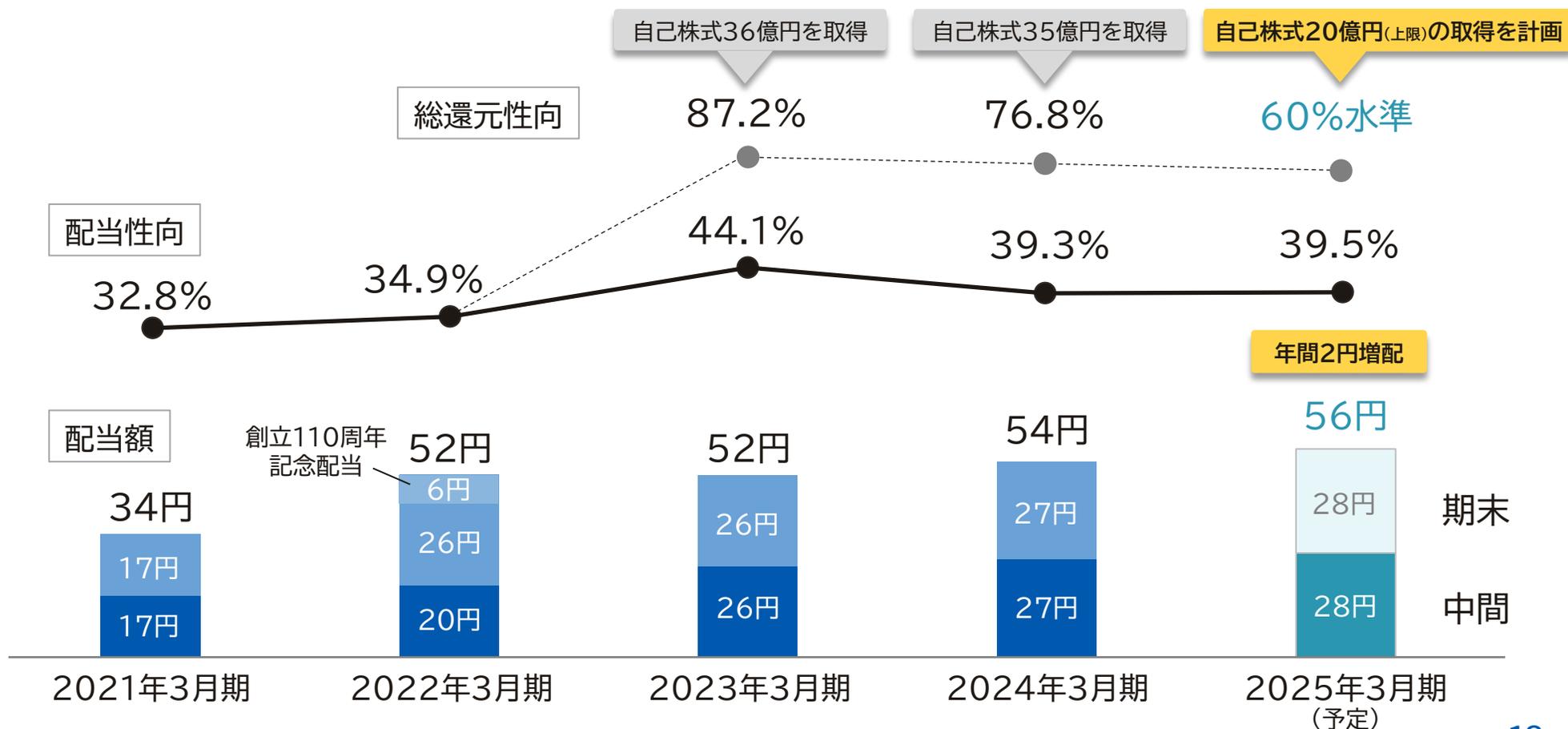
項目	金額	主な内容
生産関連	61	自動化、省人化による生産効率化投資、生産設備の増設などの増産対応、他
システム関連	22	IT関連投資 (DX化の推進、他)
建物・事務関連	37	オフィス環境整備、建物維持管理、他

■設備投資額 ■減価償却費 (単位:億円)



資本効率の向上及び株主還元の充実を目的に、  
2025年3月期は「増配」と「自己株式取得」を予定

2025年3月期の配当は年間56円(2円増配)を予定。また自己株式取得20億円(上限)も実施予定。



1. 2024年3月期 決算概要 P. 3 ~ 14

2. 2025年3月期 業績予想 P. 16 ~ 18

**3. トピックス P. 20 ~ 24**

## ホーローシステムキッチン「レミュー」モデルチェンジ



世界初となるホーロー3Dインクジェット印刷技術を用いたデザインや、より家事を楽しむ機能を盛り込み、これまで以上に高品質で高級感のあるキッチンに。ハイクラスゾーンの方などをターゲットにした高級価格帯での売り上げ拡大を目指します。

詳細は[こちらへ](#)



## ホーロー洗面化粧台「エリーナ」新カラー登場

キッチンと同様にホーロー3Dインクジェット印刷技術を用いたリアルな木目柄・大胆な濃淡で広がりを感じるグラデーション柄のカラーが新登場。高級感のある洗面空間を演出します。



## ホーロー製レンジフード「キープクリーンフード」新発売



ファンを含む内部を汚れにくくする、独自の「フィルタリング構造」により、従来1年に一度を目安に必要だったファンのお手入れが10年に一度となり、お手入れにかかる時間と使用する水量の削減を実現しました。

 GOOD DESIGN AWARD  
2023年度受賞

詳細は[こちらへ](#)



## システムバス「グランスパ」好評発売中

多様化するニーズにお応えして、浴槽や洗い場、カラー天井などの組み合わせを自由に選べるほか、機能商品のオプションを多数ご用意。暮らしに合わせた理想の浴室空間をカスタマイズいただけます。



入浴時間を快適にするリラックス機能「肩包み湯」



マイクロバブルにより温泉気分を味わえる「うるぼか湯」

## 2023年度は移転2カ所・リニューアル9カ所を実施

全国47都道府県に約160カ所。お客様が商品を「見て、触れて、納得」いただける地域密着型のショールームを展開。



移転	大分県	大分ショールーム
	埼玉県	川口ショールーム
リニューアル	愛知県	豊橋ショールーム
	栃木県	宇都宮ショールーム
	京都府	京都南ショールーム
	大阪府	大阪ショールーム
	福岡県	福岡ショールーム
	神奈川県	港北ショールーム
	滋賀県	彦根ショールーム
	新潟県	上越ショールーム
	北海道	札幌ショールーム

WEB活用によりショールームへの来場を促進

360°見渡せる  
バーチャルショールーム



ショールーム  
展示品情報



WEB予約システム



## 「2023 CRMベストプラクティス賞」を受賞

生産性向上による収益構造改革のために、デジタル技術の活用を推進し、販売活動を変革するためのDXの取組が評価。

### 顧客管理(CRM※)システムの導入

※Customer Relationship Managementの略



取引先と施主の情報を一元管理

情報共有の強化、追跡対象の選別

**成約率UP**

会議時間の削減・情報取得の早期化

**営業効率UP**



### 「CRMベストプラクティス賞」

一般社団法人CRM協議会主催。  
IT技術を活用して顧客管理(CRM)を実施し、  
成果を上げている企業・団体から選定し、CR  
M推進のモデルケースとして広く役立てていく  
ことを目的に実施。

### インド・ニューデリーで開催されたアジア最大級の建築系展示会 「Economic Times ACETECH展」に初出展

今後の海外事業においてインドを重点戦略候補国として位置付けており、進出を検討する上で、現地でのホーローの受容性調査やパートナー候補企業選定のため、今回出展。

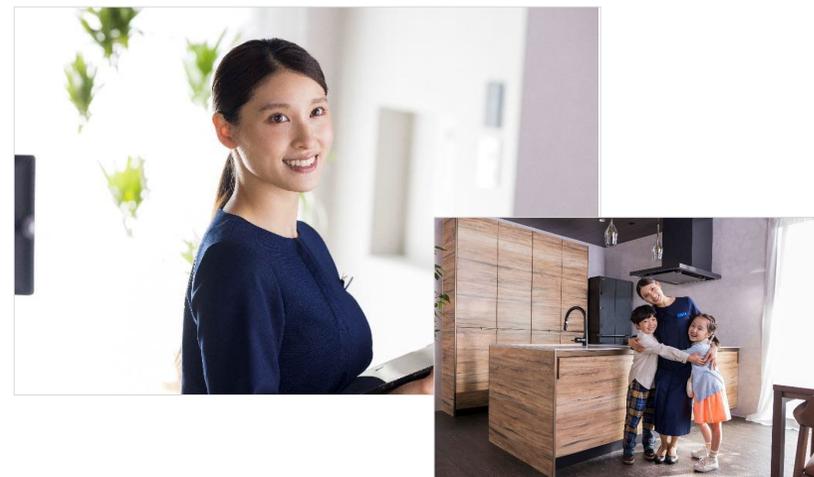


2023年12月に開催。約500名のインテリアデザイナーや設計会社の担当者が当社ブースへ来場し、ホーロー製品の清掃性やデザイン性、耐久性を高く評価いただきました。



### 土屋太鳳さんがCMキャラクターを務める テレビCM放映中

「未来への願い」をテーマに、ショールームアドバイザーとして5年目を迎えた土屋太鳳さんが、小さなお客様役を演じる子役の池村碧彩さんと石塚陸翔さんファミリーをお迎えします。



CM内では、物知りの池村さんや、知りたがりの石塚さんに対し、SDGsなタカラスタンダードの製品を、優しく分かりやすく紹介。土屋さんのどこか母性をも感じさせる子役のお二人への対応や、5年目のベテランとなり自信に満ち溢れた土屋さんの姿にご注目ください。

## タカラスタンダード新人事制度運用開始

### 年功序列廃止や多様な働き方推進で人財・組織基盤を強化

多様な人財・多様な価値観の下でイノベーションが生まれる組織を目指し、抜本的に改革した新人事制度の運用を、2024年4月より開始しました。なお、等級や賃金、評価制度など、人事制度全体を通しての見直しは当社として初となります。

### 新人事制度コンセプト

## 「Change for the “Next Standard”」

### 企業理念3つの“Standard”

Living Standard(住生活水準)/Ethical Standard(倫理規範)/Quality Standard(品質基準)

**NEW** 人財ポリシー ①チャレンジ人財 ②育成/成長人財 ③自律自走人財

<b>NEW</b>  <b>等級制度</b>	<b>NEW</b>  <b>評価制度</b>	<b>NEW</b>  <b>賃金制度</b>
人財ポリシーを等級要件に反映し、キャリアパスを明確に設定	等級要件と評価項目をリンクさせ、簡潔な評価ルールを設定	等級・評価制度の連動した処遇でメリハリのある賃金を設定

### 制度改革の主なポイント

【1】等級制度	「年功序列の排除」「等級要件の再設定」「役職の廃止」
【2】働き方改訂	「総合職への統合」「勤務地区分の設定」「専門職コースの設定」
【3】評価制度	「評価方法の刷新」「多面(360度)評価の導入」
【4】ネクストキャリア制度	定年後の多様な働き方と賃金バランスの実現
【5】採用強化	「リファラル採用」「アルムナイ採用(カムバック採用)」

## 更なる成長に備えた工場用地の取得

シェア獲得による国内販売の増加と海外売上の拡大を目指す方針のもと、これからの成長に備えた将来的な供給体制整備の一環として新工場用地を取得。主に当社事業の核であるホーローの生産能力増強を図る目的です。



取得時期	2024年3月
住所	愛知県知多市新刀池一丁目
広さ	約12万㎡
用途	ホーロー生産工場
竣工時期/投資予定額	未定

最新設備の導入による自動化・デジタル化と環境負荷低減などを想定した最新鋭のマザー工場とする計画で今後、具体的な検討を進めてまいります。

## ESGの取組みを通じて、中長期的な企業価値の向上を目指します

### E（環境）

- 当社の独自素材「高品位ホーロー」はサステナブル素材
- タカラ環境方針の策定
- 2030年度 CO2排出量削減目標 [2020年度比30%削減]の設定
- 生産拠点への省エネ設備導入、CO2排出量の少ない燃料への転換
- CO2排出量を削減する「ホワイト物流」への賛同
- 梱包資源削減と廃棄物軽減で環境を守る
- 社屋に太陽光設備を設置し、環境と省エネルギーに配慮

### S（社会）

- 様々な子育てサポートで女性が活躍できる環境づくり
- 従業員が健康で健やかに働ける「健康経営」の推進
- 場所や時間にとらわれない柔軟な働き方の推進
- こども食堂への寄付(食の支援を通して、社会に貢献)
- 子どもたちの想いを育てる「こころの劇場」協賛
- アーティスト支援による社会貢献活動を目的とした「ホーロー×アート プロジェクト」の推進

### G（ガバナンス）

- プライム市場上場企業として、健全な企業経営につながるガバナンス体制の強化
- IR活動を通じて、幅広いステークホルダーとの建設的な対話を実施

当社が考えるSDGsを  
ホームページで公開中。



< IRお問い合わせ先 >

タカラスタンダード株式会社

管理本部 財務部

TEL

06 - 6962 -1502

E-mail

ir@takara-standard.co.jp

水まわりって、大切だから

**Takara standard**

本資料は、2024年5月9日現在の計画に基づく予測が含まれています。これらの計画と予測は、リスクや不確定要因を含んだものであり、実際の業績が当社の計画と異なる結果となる可能性があります。